国土交通省東北地方整備局
Tohoku Regional Bureau
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

阿武隈川改修100年 SINCE 1919

記者発表資料

令和元年　９月１８日
福島河川国道事務所

高校生が相馬福島道路の工事現場を体験します。
～建設業界の役割や魅力を伝えることを目的に現場見学会～

東北中央自動車道（相馬福島道路）は、震災復興のリーディングプロジェクトとして、令和2年度の全線開通を目指して、事業を進めているところです。
この見学会は、（一社）福島県建設業協会が主催の建設工事現場見学事業で、建設業界の役割や魅力を伝えること、若年者の職業意識を高めることを目的に、平成2年度から県内の高校生等を対象に実施しているものです。
国土交通省では建設工事現場の見学受け入れを行っており、見学会を通して、高校生の皆さんに相馬福島道路の役割を理解していただくとともに、建設業の役割や土木工事の魅力に直接触れていただきたいと考えています。

１．日　時
＜第１回＞令和元年 6月12日（水）10:50～14:20程度（県立喜多方桐桜高校 33名）実施済
＜第２回＞令和元年 9月19日（木）10:55～14:25程度（県立福島明成高校 40名）　今回実施
＜第３回＞令和元年10月30日（水）時間未定（県立二本松工業高校 40名）

２．概　要
東北中央自動車道（相馬福島道路）の工事現場にて、工事中でなければ見ることの出来ない土木工事の施工状況を見学していただきます。
第２回見学会は“ＩＣＴを活用した工事現場（※）”、“（仮）上保原トンネル”、“（仮）阿武隈川橋”、“（仮）桑折高架橋”で開催します。

※建設現場の生産性向上を目指し、施工プロセスの各段階で３次元データを活用する工事

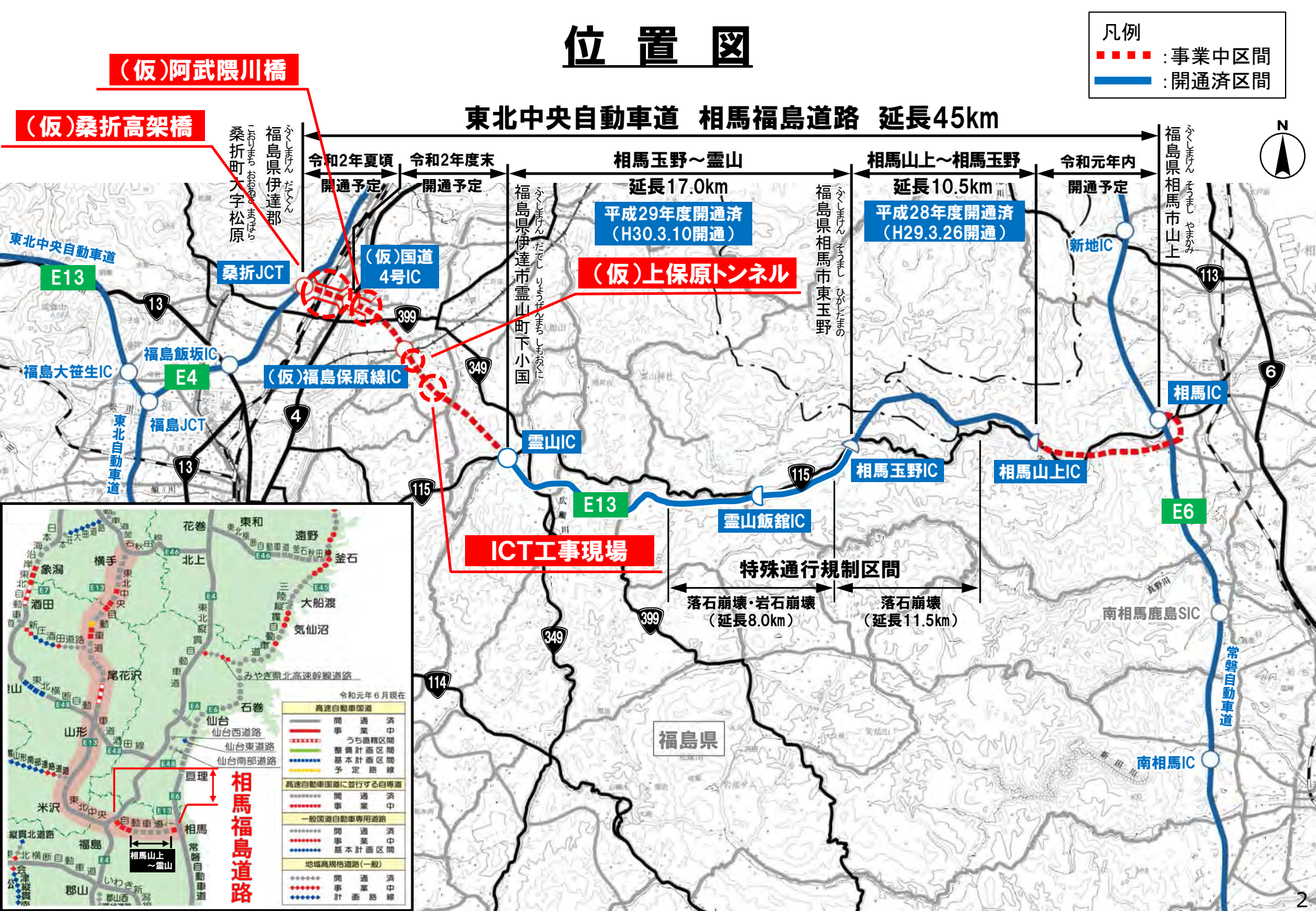
【主なスケジュール】
・令和元年9月19日（木）　午前 10:55までに現地（別添位置図①参照）にお集まり下さい。
午後 13:25までに現地（別添位置図②参照）にお集まり下さい。
・＜第３回＞の予定については、別途お知らせいたします。

３．取材について
現場に入場する際はヘルメットの着用をお願いします。事前に連絡をいただければこちらで用意します。

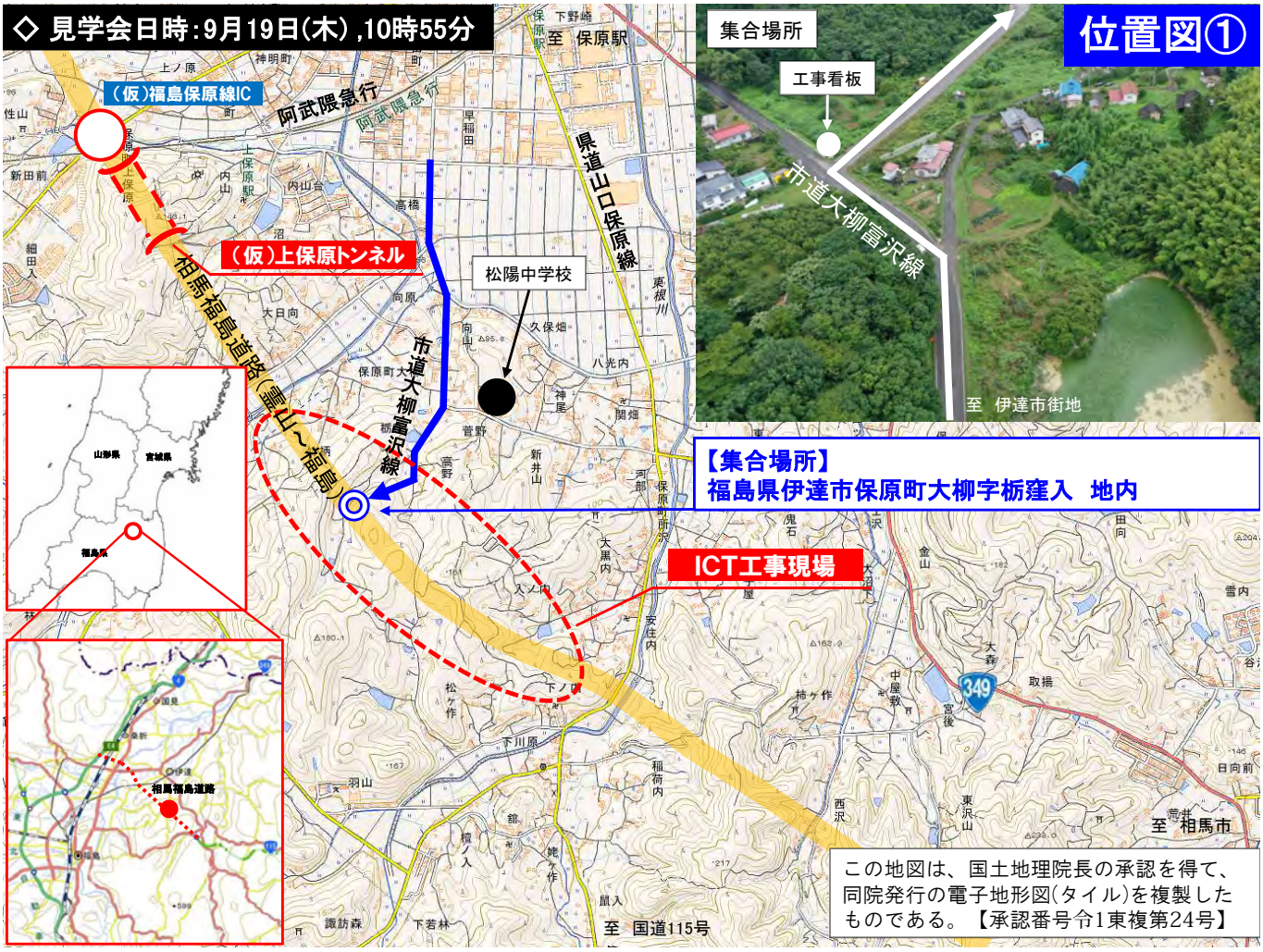
＜＜発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ＞＞

【問い合わせ先】
国土交通省　東北地方整備局　福島河川国道事務所
福島県福島市黒岩字榎平36　　TEL 024－546－4331（代表）
副所長（品確）　種市（たねいち）　優（まさる）　（内２０６）
【事業に関するお問い合わせ】
工務第二課長　黒沼（くろぬま）　正敏（まさとし）（内４１１）
【見学に関するお問い合わせ】
計画課長　下田（しもだ）　一朗（いちろう）（内２６１）

位　置　図


凡例
:事業中区間
:開通済区間
東北中央自動車道　相馬福島道路　延長45km
（仮）阿武隈川橋
（仮）桑折高架橋
桑折町大字松原
福島県伊達郡
令和2年夏頃
開通予定
令和2年度末
開通予定
相馬玉野～霊山
延長17.0km
平成29年度開通済
（H30.3.10開通）
相馬山上～相馬玉野
延長10.5km
平成28年度開通済
（H29.3.26開通）
令和元年内
開通予定
福島県伊達市霊山町下小国
福島県相馬市東玉野
福島県相馬市山上
東北中央自動車道
E13
桑折JCT
（仮）国道4号IC
（仮）上保原トンネル
福島飯坂IC
E4
福島大笹生IC
（仮）福島保原線IC
福島JCT
東北自動車道
霊山IC
E13
霊山飯舘IC
相馬玉野IC
相馬山上IC
新地IC
相馬IC
E6
ICT工事現場
特殊通行規制区間
落石崩壊・岩石崩壊
（延長8.0km）
落石崩壊
（延長11.5km）
南相馬鹿島SIC
常磐自動車道
南相馬IC
福島県
相馬福島道路
相馬山上～霊山
令和元年６月現在
高速自動車国道
開通済
事業中
うち直轄区間
整備計画区間
基本計画区間
予定路線
高速自動車国道に並行する自専道
一般国道自動車専用道路
地域高規格道路（一般）
計画路線
N

◇ 見学会日時：9月19日(木)，10時55分



位置図①

◇ 見学会日時：9月19日(木)，13時25分



位置図②

現状の問題点

相馬福島道路の整備効果

相馬－福島間を繋ぐ「命の道」
東日本大震災からの力強い復興に貢献します。

相馬－福島間を繋ぐ国道115号は、信頼性や速達性の改善が求められています。

◎国道115号（相馬～福島）は相馬～福島間を繋ぐ主要な道路であり、東日本大震災では沿岸被災の救助・救援活動のために利用される等、防災面においても重要な位置付けにあります。
◎しかし、多数の線形不良個所や事前通行規制区間等があり、信頼性や速達性の改善が求められています。
◎平成27年には大雨による道路崩壊で約1週間の全面通行止めが発生し、物流、生活、観光等、多方面に大きな影響が出ました。



①線形不良箇所（R=25m・I=8.4%）



②道路崩壊発生箇所（H27）（約1週間全面通行止）



③幅員狭小等により大型車のすれ違いが困難



④緊急輸送道路として利用される国道115号



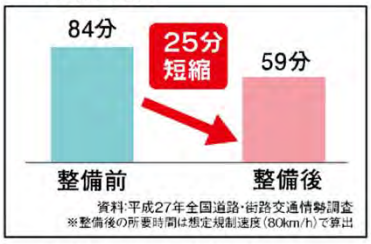
相馬福島道路の整備効果

相馬ー福島間を繋ぐ「命の道」
東日本大震災からの力強い復興に貢献します。

安心・安全な救急医療を支援！

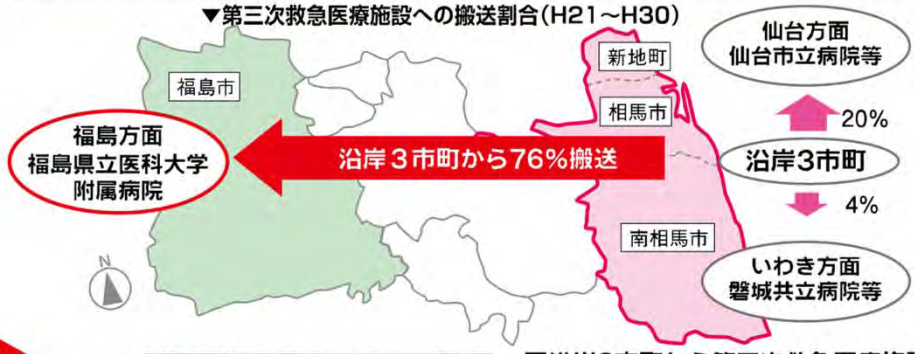
◎相馬市等沿岸部は、第三次医療施設がないため、福島市にある福島県立医科大学附属病院へ約８割が搬送されています。
◎線形不良が多く、消防署からは搬送時の課題が指摘されています。

▼相馬市役所→福島県立医科大学附属病院への搬送時間

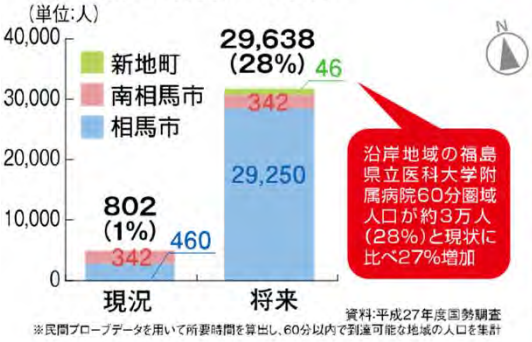


相馬市から福島県立医科大学附属病院（福島市）までの搬送時間が25分短縮、救急医療施設への速達性、輸送時の安定性向上に期待

▼第三次救急医療施設への搬送割合（H21～H30）



▼沿岸3市町の福島県立医科大学附属病院 60分圏人口の変化





■沿岸3市町から第三次救急医療施設への搬送件数（H21~H30）

全搬送件数：1,163件/10年
うち、福島方面　882件（76%）
うち、仙台方面　238件（20%）
うち、いわき方面　43件　（4%）

資料：相馬地方広域消防本部

悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保！

◎相馬市～福島市間は主経路となる国道115号に事前通行規制区間などの通行止めリスクが存在します。
◎代替路（国道349号・原町川俣線等）も通行止めリスクが存在します。
◎相馬福島道路の整備により、悪天候や災害時においても寸断されないネットワークが形成され、安全確実な交通の確保が期待されます。

▼福島県県北地方と相双地方間の通行止めリスク（H11～H30）









《航空関連企業の専門運送業者の声》

◆冬期はカーブや勾配がきつい国道115号を避け、国道113号で白石ICから東北道を利用しているが、迂回する分、ドライバーの拘束時間が増加し、時間管理が困難な状況。
◆相馬福島道路が完成すれば、天候・災害を気にすることなく利用でき労働管理の心配が少なくなる。

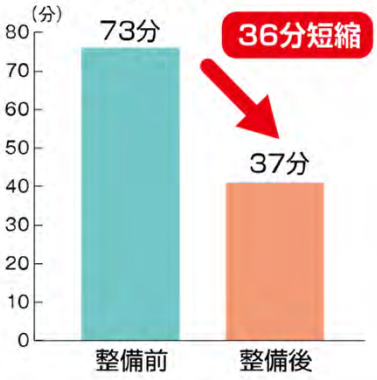
相馬福島道路の整備効果

効率的な交通経路の選択が可能に！

◎相馬福島道路の整備により、相馬～福島間の所要時間が約40分短縮されます。
◎縦軸（東北道,常磐道）と横軸（相馬福島道路,仙台南部道路）の高速道路がつながり、効率的な交通経路の選択が可能になります。



▼福島飯坂IC ⇔ 相馬IC 間の所要時間の変化



資料:平成27年全国道路・街路交通情勢調査
※整備後の所要時間は想定規制速度（80km/h）で算出

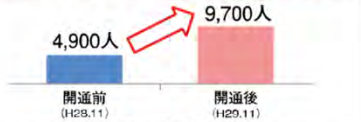
凡　例
- 有料区間（供用済区間）
- 有料区間（事業中区間）
- 無料区間（供用済区間）
- 無料区間（事業中区間）

広域的な観光交流を支援！

◎東北中央道（福島～米沢）開通後、福島市の観光施設では山形方面からの来訪者が約2倍に、米沢市では約1.4倍に増加しています。
◎阿武隈東道路開通後、相馬市内の観光施設では山形県・福島県内陸部からの来訪者が増加しています。
◎相馬福島道路が開通すれば、所要時間の短縮による新たな広域観光周遊ルートの形成と更なる地域連携の強化により、交流人口の増加と活発な観光交流が期待されます。

■飯坂温泉（福島市）

山形方面からの来訪者が約２倍に増加



※「混雑統計®」©ZENRIN DataCom CO.,LTD
※「混雑統計®」データは、NTTドコモが提供する「ドコモ地図ナビ」サービスのオートGPS機能利用者より、許諾を得た上で送信される携帯電話の位置情報を、NTTドコモ㈱独自のかつ統計的に加工を行ったデータ。位置情報は2次元分布に測位されるGPSデータ（緯度経度情報）であり、性別・年齢等の個人を特定する情報は含まれない。

道路開通に合わせた地域連携で
山形方面からの観光客が増加

道路開通で地域連携



相馬、米沢と誘客図る

ふくしま観光誘客広域プロジェクト実行委員会（福島市）

出典：H29.11.8福島民報

▼東北中央自動車道・相馬福島道路開通に伴う広域的な観光周遊ルートの形成イメージ



出典：H27 年全国道路・街路交通情勢調査、東北中央道の区間は70km/h、相馬福島道路の区間は80km/hで算出

■上杉城史苑（米沢市）

▼観光入込客数の変化　約1.4倍増加



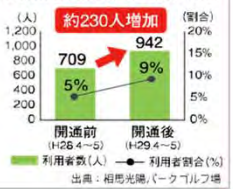
出典：上杉城史苑

■相馬光陽パークゴルフ場（相馬市）

《相馬光陽パークゴルフ場管理・運営者の声》
◆山形県や中通り・会津方面の参加者から「到着時間が早まった」「走行性が良くなった」との声があがっています。
◆相馬福島道路の更なる延伸により、内陸方面からのお客様が施設を利用しやすくなることを期待しています。



▼山形県・福島県内陸部の利用者推移



出典：相馬光陽パークゴルフ場

相馬福島道路の整備効果

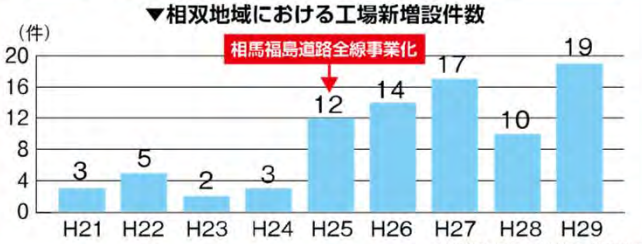
物流効率化で企業活動を支援！

◎東日本大震災において甚大な被害が生じた福島県相双地域において近年工場の新設等の企業の進出が顕著であり、中でも相馬福島道路の整備により内陸部へのアクセス性が強化される相馬港背後圏への企業立地が促進されています。
◎港湾と高速道路ネットワークのアクセス強化により、物流の効率化が図られるとともに被災地の産業復興を支援します。

▼相馬港および周辺工業団地の企業立地状況



▼相双地域における工場新増設件数



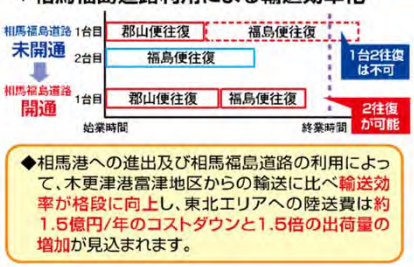
資料：福島県商工労働部企業立地課

相馬港に進出した鉄鋼加工メーカー(H30.6操業開始)の輸送効率化の事例

▼相馬港および周辺工業団地の企業立地状況



▼相馬福島道路利用による輸送効率化



◆相馬港への進出及び相馬福島道路の利用によって、木更津港富津地区からの輸送に比べ輸送効率が格段に向上し、東北エリアへの陸送費は約1.5億円/年のコストダウンと1.5倍の出荷量の増加が見込まれます。

東北内の出荷量の変化



相馬港と内陸部との連携が強化され、地域産業が活性化！

◎相馬港（重要港湾）に立地するＬＮＧ基地は、国内最大級の２３万キロリットルの地上式ＬＮＧタンクを有した福島県内初の大型ＬＮＧ基地で、平成３０年３月２８日に操業開始されています。
◎内陸部へのタンクローリー車による輸送を計画しており、その際は相馬福島道路が利用されます。
◎相馬福島道路が開通すると、内陸部への安定確実なＬＮＧの供給が可能となるとともに、時間短縮が図られることにより、流通エリアや営業エリアの拡大により、収益が上がり、地域産業の活性化・地域雇用拡大が期待されています。

▼相馬福島道路を利用した新たな物流の動き





相馬LNG基地/福島天然ガス発電所　完成イメージ



H30.11.27 整備状況

《相馬商工会議所の声》

◆平成29年度末に操業開始した相馬LNG基地の進出と併せて、関連企業の誘致を促進していきます。
◆相馬福島道路の開通は、相馬中核工業団地への企業誘致や相馬地方の地場産品、工業製品の出荷・流通エリアの拡大や、営業エリアの拡大が可能となり、相馬地域の地方創生に寄与するものと期待し、一日も早い開通を望みます。